

# 小型航空機搭載用高分解能合成開口レーダーの研究開発

被災状況把握に有効とされる航空機搭載合成開口レーダー (Pi-SAR2) を、より迅速かつ臨機応変に運用するための技術の研究開発・実証実験等を行う。

## 1 施策の概要

(1) 我が国が開発した航空機搭載合成開口レーダー (Pi-SAR2) は、世界最高の水平分解能 (30cm) を有しており、9GHz 帯のマイクロ波により、昼夜天候等に関係なく、地表の状況を随時・臨機に観測可能であり、被災状況観測に有用性が示されている。

一方で、本レーダーは安定した航空機軌道が必要であり、機材も比較的大きいことから、ビジネスジェットクラスの航空機搭載を前提としており、柔軟に利用できる実用的なシステムとは言い難い。

このような問題を解決し、より迅速かつ臨機応変に災害対応等を行えるようにするため、セスナ等の小型航空機にも搭載可能な小型・可搬型の航空機搭載合成開口レーダー実現に向けた研究開発を実施する。

(2) Pi-SAR2 と同等の性能を有しつつ、セスナ等の小型機にも搭載可能な、小型・可搬型 Pi-SAR2 を実現するためのシステム最適化技術、航空軌道動揺補正技術等の試作及び性能評価を行う。

## 2 イメージ図

